

化学・生物総合管理の再教育講座(講義内容)

前 期

科目No.	256	科目名	生物総合評価管理学特論4		サブネーム	動物と人の関係学ー動物から人へのメッセージ	
連携機関	日本獣医師会	レベル	中級	講義日時	金曜日 18:30~20:00	講義場所	お茶の水女子大学
科目概要	地球上の野生動物、飼育動物と人との距離は急速に接近し、動物から人へ感染する病気のリスクも高くなって来ている。しかし、動物と人との関係は、もはや切り離すことのできない相互依存関係になってきており、動物に対する正確な知識は欠かすことが出来ない。また、増加しつつある伴侶動物が人にとってどのような存在であるのか動物の視点から受講者と一緒に考えてみる。						

サブタイトル	No.	講義名	講 義 概 要	講義日	教室	講師名	所属
共通感染症	1	共通感染症概論	感染症の原因は主として、細菌、リケッチア、ウイルス、原虫、プリオンがある。これらの病原微生物の発育形態を概説し、人と動物の共通感染症について紹介する。	4月11日	共通講義棟 1号館101	本多 英一	東京農工大学
	2	インフルエンザとBSE	近年世界中で流行して問題になった鳥インフルエンザ(ウイルス病)とBSE(プリオン病)の病原体とその病気について解説する。	4月18日			
	3	海外伝染病事情	現在のところ日本で発生はないが、発生すると経済的に多大の経済的損失が発生する口蹄疫、豚コレラ、牛疫、アフリカ豚コレラについて説明する。	4月25日		福所 秋雄	日本獣医生命科学大学
	4	細菌以外の病原体	リケッチアおよびクラミジアによって起る動物と人の共通感染症について紹介する。	5月2日		落合 由嗣	
	5	狂犬病	ウイルスが原因で発症する狂犬病は、日本では発生がなくなったが、海外では発生頻度の高い病気で、人にも感染することから、航空機による人の移動が活発化するに従いリスクが高くなってきている。	5月9日		山田 章雄	国立感染症研究所
	6	細菌	細菌によっておこる動物と人の共通感染症について、炭疽菌、食中毒のサルモネラ菌等を中心に紹介する	5月16日		澤田 拓士	日本獣医生命科学大学
	7	動物の存在と心の健康教育	動物を飼う事で「人の心」はどう変わるのか、また、学校飼育動物を通して子供達は何を学ぶかを解説する。	5月23日		田谷 一善	東京農工大学
	8	動物と残留薬物	食用動物の飼育に用いられている薬物と残留薬物について解説する。	5月30日		下田 実	
	9	動物介在療法	人の一部の病気の治療には動物を介在させることで効果が見られることがあり、アニマルセラピーとして認知されている。このアニマルセラピーについて紹介する。	6月6日		横山 章光	帝京科学大学
	10	ホースセラピー	馬を通して人の病気の治療の一助にする試みが行われており、このホースセラピーについて紹介する。	6月13日		局 博一	東京大学
動物と人の関係	11	動物の行動学	動物の行動や習性を理解し、動物とのよりよい関係を築くにはどうしたら良いか紹介する。	6月20日		武内 ゆかり	
	12	野生動物と人間社会	人間活動の拡大によって動物の生息圏が狭められつつあり、野生動物と人の生活圏の調和をどのようにとるか重要な課題となってきた。野生動物と人の共存について解説する。	6月27日		羽山 伸一	日本獣医生命科学大学
	13	伴侶動物の病気	伴侶動物の生活習慣病や、日常の症状から病気かどうかをどう判断するか臨床獣医師の立場から紹介し、併せて人への感染の可能性を解説する。	7月4日		岩崎 利郎	東京農工大学
	14	伴侶動物のターミナルケアとペットロス	伴侶動物は飼育条件が良くなり長命になってきているが、その終末を迎えるに当たりどのような心構えが必要なのか、臨床獣医師の立場から解説する。	7月11日		鷲巢 月美	日本獣医生命科学大学
	15	総合討論	受講者は新聞記事から「人と動物の関係」に関する記事を選び、その内容から問題提起をもらい総合討論をする。	7月18日		神田尚俊ほか 講師複数参加	東京農工大学

2008/3/13 教室の記載。2008/4/1 4月25日の講義と5月16日の講義の入れ替え。2008/4/9 5月23日の講義と5月30日の講義の入れ替え。